

朝の館内放送

令和4年11月7日

おはようございます、市長の中村健です。

10月26日に市役所ウェディングを執り行い、新聞紙面はもとより、NHK、CBCテレビ、中京テレビと、多くのテレビ番組でも取り上げていただきました。

そして、普段はあまりやり取りをしていない人も含め、本当に多くの方々からお褒めの言葉、評価の言葉を私にも直接いただきました。

多くの報道機関に取り上げられ、多くの人から評価をいただいた理由については、大きく3点あると考えています。

一点目は、市役所の議場で行ったこと。

敷居が高いと思われがちな市役所を結婚式場として提供するという、その意外性と柔軟な姿勢に評価をいただいたのだと思っています。

公共の財産を利用するには様々な制約がありますが、カチカチの固い頭で考えるのではなく、今後も市民目線での柔軟な姿勢を各部局・各課に期待します。

二点目は、コロナ禍で結婚式を挙げられなかった夫婦を対象に行ったこと。

新型コロナウイルス感染症の影響により、結婚式を挙げたくても挙げられなかったご夫婦も少なくありません。

実際に市役所で結婚式を挙げられる夫婦の数は限られますが、不可抗力により不遇な立場を余儀なくされたご夫婦を対象とし、無料で結婚式を挙げられるようにした点が評価されたのだと思います。

三点目は、ワクワク西尾創生コンテストにおける若手職員の発案からスタートしたということ。

「できない理由」を挙げて不採択にすることは簡単ですが、若手職員の提案を大事にして、組織として実現に繋がれたことが評価されたのだと思います。

このことは、組織として非常に大きな成果であり、大きな進歩であり、そして大きな財産になりました。

それに加え、結婚式当日は、夫婦固めの儀として抹茶を飲み交わしていただいたり、市のシンボルフラワーであるバラでフラワーシャワーを行ったり、マスコットキャラクターの「まーちゃ」が登場するなど、西尾市らしさを意識した演出もしっかりできました。

幸せいっぱいの音部ご夫妻の新たな門出に立ち会えたことが一番ですが、西尾市役所のイメージアップにも大きく寄与したことと思います。

今後も市民目線に立ち、「できない理由」を探すのではなく、「できる方法」を考える姿勢で、ワクワクする様々な企画を展開していけるよう、職員の皆さんの協力をお願いします。

以上で、朝の館内放送を終わります。